

お家の水洗化はお済みですか？ (下水道等排水設備普及促進補助金制度)

上下水道課 ☎47-1204

下水道排水設備 普及促進補助金とは？

新たに宅内から下水道や浄化槽に接続する工事（排水設備工事）をおこなう方へ補助金を交付しています。

■対象者

安芸高田市が整備した下水道の公共ます又は浄化槽までの排水管（宅内ますを含む）を、新たに設置する工事をおこなう方

■対象となる費用

新たに設置する下水道管や宅内ますの設置費用
（屋内工事は対象となりません）

■補助金額

- ① 工事する排水設備指定工事店が市内の指定工事店の場合、5万円の補助金
- ② 市外の指定工事店の場合は、3万円の補助金

■補助条件

- ① 設置費用が5万円以上であること
- ② 市税・水道料金等を完納していること
- ③ 申請された年度内に工事に着手し、工事を完成させること
- ④ 安芸高田市が指定する排水設備

備指定工事店で施工すること ■申請について

工事着手前に申請書を提出して工事に着手します。完成後は完成書類を提出した後ご指定の口座に補助金を振込みします。

■申請に必要な資料等

- (申請時)
- ① 見積書及び契約書の写し
 - ② 工事図面及び位置図
 - ③ 市税等調査同意書
- (完成時)
- ① 請求書及び領収書の写し
 - ② 完成図面及び工事写真
 - ③ 口座振替依頼書

■その他

条件や申請など詳しくは上下水道課までお問い合わせください。



最近トマトと仲良しです

今回からリレー方式で、6人の協力隊員が月1回記事を担当させて頂くことになりました。第1回目を担当させて頂く森本真希です。

今回のお題は、『現在業務として取り組んでいること』です。私は4月から地域営農課で、農作物の産地化、商品開発に取り組んでいます。何に取り組んでいるかと言うと、トマトです。

このトマトの品種名は「なつのこま」と「なつのしゅん」といいます。育て方、食べ方が今までのトマトと全く違います。

植え付け後に誘引（ツルや茎を支柱に結びつけ、成長の方向などの調節をすること）をしたり、芽かき（主枝からわきに出る余分な芽を摘むこと）をすることが必要です。植えつけたら、基本的に実が完熟するまで放置。それだけです。

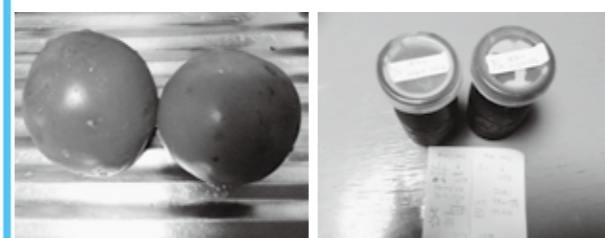
食べ方も、生で食べてはさほどおいしくありませんが、鍋に入れてそのまま煮込むことで、真価を発揮します。果肉が多く、種の周りのゼリー状の果汁が少



地域おこし協力隊員リレー コラム vol.1 森本 真希さん（産業振興部 地域営農課）

ないです。今までの私達のトマトに抱くイメージとは違って、るように思っています。

現在、このトマトを試験的に育てており、これから収穫を迎え、どのように調理したらよりおいしくなるかなど、安芸高田市の皆さんに広く知って頂くには・・・など活動している所です。もし、将来、産直市などで『加工用トマト』としてお披露目する時が来たら、どうぞ一度食べて見て頂きたいです。よろしくお願ひします。



加工する前の「なつのこま」と「なつのしゅん」
(左) 加工して瓶詰にしたトマトジュース (右)

市長コラム ワイド版 第85回

「安芸高田市ふるさと応援の会」の役割

安芸高田市は高齢化率37.26%であり高齢化の進んだまちであります。典型的な中山間地域であり、このまま放置すれば集落の維持が出来なくなる事は必至と云えます。

この厳しい状況の中で、安芸高田市の更なる魅力と活力を創造し、市の活性化に寄与して頂くため、全国に点在する市にゆかりのある人々が結集し、「安芸高田市ふるさと応援の会」を平成22年12月に結成いたしました。この「本部」の立ち上げに引き続き、平成24年11月に「広島」、平成26年8月に「関東地区」を立ち上げ、立川会長を始め役員の皆様の会員確保の努力により、現在の会員総数は、2,073人（安芸高田市856名、広島677名、関東地区241名、その他289名）となりました。ふるさと応援の会本部（会長 立川哲男 会員2,073名）の活動状況として、①市の観光事業の推進・特産品の販売促進のための旬な情報発信、②会員へふるさと安芸高田市の情報発信、③神楽・田楽等の文化及びサンフレッチェ広島、湧永レオリック等のスポーツの応援、④広島及び関東地区の支援、会員拡大支援等の4つの方針を掲げている。具体的な活動は、①会員への施設・特産品の紹介、市内観光施設の優待券の発行、②広島・関東地区からのツアーの受け入れ、③会報誌の発行、④ふるさと安芸高田市の情報を掲載した「広報あきたかた」を全国に発送、⑤会員拡大、広島・関東地区の応援及び交流、⑥神楽東京公演の支援、⑦安芸高田市サンフレッチェ広島アボンサード

ゲームの応援・湧永レオリックの応援、⑧役員の内視察研修等を実施いただいています。

広島（会長 川村健一 会員687名）の具体的な活動状況は、①神楽INナイトサファリ（安佐動物園にて神楽公演）、②郡山清掃活動、安芸高田市日帰りバスツアー、③川根の柚子もぎ体験ツアー、④原田はやし田鑑賞バスツアー、⑤湧永レオリック応援の集いを実施されました。

関東地区（会長 吉川京二 会員241名）の具体的な活動状況は、神楽東京公演の支援の他に関東地区独自の事業として、市と連携のもと8つのプロジェクト（以下、PT）により活動をされています。

①ひろしま安芸高田神楽の応援PT（東京公演の成功のため、動員活動とPR活動）

②ふるさと産品の新たな絶品づくりのPT（6次産業化として辛味大根・調理用トマト等の栽培指導と生産体制の確立）

③絶品商品づくりPT（神楽焼き等の開発とパッケージ化）

④企業誘致PT（サテライトオフィスとしての企業誘致、空き家を活用しての企業誘致）

⑤広報強化支援（市のイメージアップのため、都市圏や外国に向けた情報発信）

⑥会員拡大に向けた活動PT（会員拡大のための具体策の検討、会員のニーズ調査確認）

⑦情報システム支援活動PT（マイナンバー制等これからの情報化社会に対応する活動）

⑧森林活性化PT（企業の資産として企業で森林を整備）

いすれにしても、ふるさと応援の会は、今後の市の活性化に無くてはならない存在であります。我々安芸高田市に住む者が、責任を持ってふるさとを守る事が、会員の皆様への恩返しと思っております。

違う文化から日本を考える

誰でも良いわけではありません

技能実習生はどのように集められているのでしょうか。ベトナムから実習生を雇っている日本の会社の職員は、実習生受入の窓口をしている日本の管理会社の職員とともに現地まで行っています。そこで日本にきたいベトナム人にビーズを詰める作業を2回させます。詰めた数の合計を見ているのではありません。2回目に詰められた数が増えているかを見るそうです。2回目に増えるという事は、どうしたら多く詰められるか、自分の作業を見直せる人だということです。真面目さもですが、向上心も重要なのです。

日本の管理会社の職員が現地にいくこともなされています。現地から紹介される人をそのまま受け入れていく訳ではありません。日本に行きたい人の自宅を家庭訪問し、人柄に加え家庭環境も見ます。そして、当人には作業内容、賃金等の労働条件を丁寧に説明するそ

人権多文化共生推進課 ☎42-5630

うです。この説明が不十分だと、来日後のトラブルのもとになります。

ところで、中国では日本側へ紹介する会社が、さらに実習生を探すと業務を別の会社へ依頼することが多いそうです。実習生が日本でトラブルを起こした場合、罰せられるのは日本側へ紹介した会社であり、実習生を探す会社は紹介料を貰うものの罰せられません。そのため、いい加減な人材が紹介されることもあるそうです。それだけに現地で見極める作業が一段と重要で、日本の東北地方のある管理会社の幹部は、説明を聞いた後、「日本に行く」という中国人の数が最初の人数から半減することも多々あると語っていました。

賃金が安ければ良いという発想で実習生を雇うことは間違っていると語ります。

(文：県立広島大学 上水流 久彦 准教授)

人がつながる。